

1730 | 特別活動の研究

2 単位 (通信授業 2 単位)

橋本萌講師

授業の概要と目標

本授業科目は、「特別活動の指導法」(教育職員免許法施行規則)を内容としている。特別活動についての全般的な理解を深めると同時に、特別活動が抱える今日的課題を受講者の問題意識に沿いながら考察する。教科書では、「学級(ホームルーム)活動」「生徒会活動」「学校行事」のもつ問題点を個々に取りあげながら、特別活動という領域のもつ内容的広がりを多様に構想できるようになることを目標とする。その上で、教育の現状に対する自分なりの視点・視角をもつことができるようにする。

課題の概要

○通信授業課題 1

教科書を踏まえて、「学級(ホームルーム)活動」「生徒会活動」「学校行事」について個々の現状を把握する。その上で、「批判」「分析」「提言」の三段階をもって考察し、「私のつくる特別活動」の構想を課題とする。

○通信授業課題 2

教科書を踏まえて、学校教育の抱える今日的課題(特別活動に関する)を自分なりにまとめる。その際に、自分固有の問題意識をもつことを条件とするが、「自主性と共同性」という視点からの考察が望ましい。

* 「問題意識」：自分がこだわっている考え方、価値観など。

* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

* 必ず「タイトル」を記載すること。

授業計画

[通信授業]

教科書『未来の教師における特別活動論』を読みながら学習を進め、通信授業課題に取り組むこと。

第 1 章 「特別活動」とは何か

第 2 章 学級活動・ホームルーム活動 (その 1)

第 3 章 学級活動・ホームルーム活動 (その 2)

第 4 章 学級活動・ホームルーム活動 (その 3)

第 5 章 生徒会活動

第 6 章 学校行事

第 7 章 クラブ活動と部活動

第 8 章 諸外国の教科外活動

成績評価の方法

○科目試験

教科書全体の範囲より出題する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 2～4 年次

[履修条件] 教職課程に登録していること。

[備 考] 2 年次の履修が望ましい。

教材等

教科書：伊東毅『未来の教師における特別活動論』(武蔵野美術大学出版局 2011 年)

文部科学省編『中学校学習指導要領解説 特別活動編』(ぎょうせい 2008 年)

文部科学省編『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』(東山書房 2008 年)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年)